

(平成 23 年度)

問題 (第 6 類 B コース)

与えられた A5 (148mm×210mm) の白い紙 1 枚を用いて、以下の問いに答えよ。

課題 1 与えられた A5 の紙に 6 本の直線による折り目を入れて立体を構成し、その立体を水平面上に置いたと仮定して、その構成の特徴ができるだけよくわかるような絵を 1 つ描け。背面の一部が隠れるためにその部分を表現できないことがあり得るが、やむを得ないこととして認められる。そのような場合は、課題 2 の文中でそのことに言及すること。

課題 2 立体を構成する際に留意したことを 150 字程度の文章で説明せよ。

解答に際しての条件

- 1) 構成された立体は、水平面上でその形を保持できるものとする。
- 2) 折り目は山折りでも谷折りでもいいし、紙の途中で止まるものであってもかまわない。折り目は、山折りのまま、または谷折りのままで一直線になっている場合を 1 本と見なす。
- 3) 立体感を出すために、陰影を適宜付けること。

解答に際しての注意

- 1) 答案用紙の受験番号欄が印刷された面のみに解答すること。
- 2) 2 つの課題の解答は、答案用紙にバランスよく配置すること。
- 3) 絵は、定規を用いて描いても、フリーハンドでもよい。
- 4) A5 の紙に切れ目を入れることは認められない。
- 5) A5 の紙が傷んでも、交換の申し出には応じられない。
- 6) 作成した立体は、裏面に受験番号を記したうえで、試験終了後、試験会場の各自の机に置いたまま退席すること (持ち帰ってはならない)。